

# 学校だより たぐち

佐久市立田口小学校 平成29年 1月 14号

## 学校自己評価に寄せられた意見より第二弾

### ○学校外での挨拶がしっかりできていない。朝、交通当番に立っても、子どもたちから挨拶ができず、高学年の子の方が良くない。

→同様のことを学校内でも感じています。学校では職員から明るく元気よく挨拶を投げかけていくように取り組んで来ています。しかし、まだ効果が出てきているかと言えば不十分であると考えざるをえません。ご家庭や地域の皆様を巻き込んでの取り組みをさらに進めていきたいと考えます。よろしくご協力をお願いします。

### ○学校へしつけをしてほしいとは求めないが、大切なこと（思いやり、協力する気持ち、友達の大切さ等）は教えて欲しい。

→大切なこととして挙げて頂いている「相手を思いやる気持ち」「互いに助け合い協力する気持ち」「互いに友達を尊重し大切な存在として思うこと」は、どれも人として欠くことの出来ない事だと考えます。それは、日常の学校生活や家庭生活を送る中で、少しずつ心に染みこんでいくものだと思っております。朝、出会った方と挨拶を交わす際に、横断歩道で停止してくれた車に感謝の思いを込めて有り難うと会釈する際に、授業をしながら友達や先生の言葉に心を傾けて聴く際に、学級の皆で一つの課題について意見を出し合い考え合う際に、これら全ての時に先に述べて頂いた他者への思いやり、協力する気持ち、友達を大事にすることの全てが働かないと「大切なこと」は獲得されていかないと考えます。

こうした雰囲気（思いやり 協力 友達の大切さ等）が充満した学校に田口小をしたいと全ての職員が思っており日々勉めております。よろしくお願いたします。

### ○算数の進みが少々遅れていると子どもから聞いたので、隣のクラスと差が出ないようにして欲しい。

→学習の進度に関しては、毎週行っている学年会に於いて、学習内容や授業の具体的な進め方について相談をし、学年での進捗状況を確認し合いながら、学期末にはよほどのことがない限り同じ所まで進められるようにと考えております。しかし、学習で扱う内容によっては、担任の考えでここはじっくり取り組ませたいと考える単元があったり、子供たちの理解の様子によっては、単元に割り当てられた授業時数より多い指導時間を確保しないと理解や定着に至らなかったりといった状況が生じます。授業を行いました、子供たちの多くは理解が不十分ですでは指導していないことと同じになってしまいます。第一弾の所でも述べさせていただきましたが、授業に向かう姿勢や意識また、家庭学習への取り組みの姿などにより、大きく理解や定着に差が生じることは現実でもあります。このほかにも様々な要件で単元の進捗状況に差が生じるということが、現実には起きています。特に算数においては、学年が進むにつれて、一人一人の子供たちが理解する早さや定着度などに差が生じやすくなっているのも事実です。先に述べましたが、学期末には、進度を同じくするようにしていますが、説明させていただいたような状況もあるという点をご理解していただきたいと考えます。よろしくお願いたします。

学校自己評価に寄せられてご意見について、第一弾及び第二弾に分けてお伝えしてきました。ご意見をいただいた内容に関わり、現状としてはこんな状況ですといった説明の部分も含め、丁寧にお知らせしたいと思いましたが記述が長くなり申し訳ございませんでした。少しでも「現状を共有」していただき、その上で改善につながるような新たなご指摘やご意見をいただけるとありがたいと考えております。よろしくお願いたします。出来ましたら、各担任の方にお伝えいただければ、今後全教師で検討し来年度に向けて教育計画の改善につながるようにさせて頂きたいと考えます。よろしくお願いたします。

また、このほかにも様々な視点よりご意見をいただいております。内容によっては、各個人に係りの先生にまた、PTAのみなさんにお伝えして参ります。また、いただいたご意見は、次年度の教育計画立案のための検討会の検討議題として取り上げさせていただき、全職員に示した上で検討して参ります。ご理解をいただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

# 信州型コミュニティ・スクールの立ち上げ

「田口っ子応援団」(仮称)の立ち上げを行いたいと考えております。その準備会を兼ねている学校評議員会では、1月27日(金)に予定されている第4回学校評議員会の日「立ち上げの会」を行うことでご了解を頂いております。

今現在は、学校運営委員になっていただける方の選任に当たっているところです。勝手ではありますが、今回は

学校の方で選任をさせていただきます。申し訳ございませんがお許しを頂ければと考えます。出来るだけ多くの方々に、学校に関わっていただき、様々な視点からご意見をいただく中で、田口小学校のあるべき姿や進むべき方向を見いだして行かれればと考えます。もちろん学校自己評価もそうですが、寄せられた意見全てに応じて改善がなされるというわけには参りません。いただくご意見の中には、方向性が異なる意見も結構ございます。少しずつよりよい方向性が見いだせ、出来るだけ多くの方々に納得していただける田口小学校にまた子供たちの笑顔が溢れ、一人一人の個性に応じた伸びやかな学校になるようにしていきたいと考えます。

「田口っ子応援団」(仮称) 田口小コミュニティスクールの規約や約束事また、どのような役割を担っていくか等

につきましては、新年になりましてからまた、お知らせしたいと考えます。よろしく願いをいたします。

## 3学期始まりです

1月10日は、3学期の始業式でした。2学期には様々なことがありました。学年によっては、子供たちをはじめ保護者の皆さまに、多大な迷惑とご心配をおかけしてしまう結果となり、誠に申し訳ない思いでいっぱいです。申し訳ございませんでした。個別懇談会では、短い時間ではありますが、内容の濃いお話が出来た学級が多くあり、有り難いと思っております。しつこいかと思われるでしょうが、懇談会など保護者の皆様方とお話をさせていただく機会を得る度に、やはり互いに信頼し合い、それぞれの領分をしっかりと守ると共に、互いに情報を共有し、同じ方向を向いて子供たちのための取り組みを進めることが何よりも重要だと改めて思います。3学期は、40日という短い登校日数です。きちんとまとめを行い、次の学年に向けての準備や心構えを子供たちと共に行っていく時期になります。また、保護者の皆様方のご理解とご支援をお願いする事も多分にあるかと思っております。また、2学期には、奥殿小との交流会が8月にあたり、10月には、新小学校へ通う通学路の検討委員会と、会議がたくさんあたりしました。しかし、様々な方に手を貸していただき、どの事業も大きな成果を挙げて終わることが出来ました。関わっていただいた多くの皆様方に心より感謝申し上げます。3学期は、平成29年度に向けた学校の土台作りの時期でもあります。3学期にも多くの皆様方にご支援をいただければ幸いです。宜しく申し上げます。

懇談会：保護者の皆様にとって懇談会は、どのように映っているのでしょうか。残念なことに私自身は、懇談会に来るとい立場の経験がございません。常に、させていただく側として携わって参りました。ふと考えることがありました。「私が短い時間に伝えようとしていることは、もうすでに保護者の皆さんは十分理解しておられるのではないかと。最近、「それでも無いような」という話を各所で耳にする事が多くなったように感じています。頭の中や理屈では、そうだなと思っても、なかなか現実の雰囲気やその場の状況がうまく伝わっていないように感じてしまいます。そうした中で子供たちに直接関わる私たちが直に会ってお話をしたり、意見交換をしたりするという事は、「極めて重要」だと感じております。今後も、顔と顔をあわせ、その子のために胸襟を開いて話し、手を取り合って育てていくことは不可欠です。この年末年始をどのように過ごされたでしょうか。怪我や病気など十分に気をつけて過ごしていただければ幸いです。すがすがしい心持ちで新年をお迎え頂き、心新たに平成29年を過ごして参りたいと思っております。よろしく願いいたします。

文責 田口小学校長 滝澤 俊明